

銀行名	山口銀行
タイトル	クラウドファンディング活用による創業・新事業支援体制の構築について
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県内の人口が減少し、高齢化が進展する中、地域経済の新たな担い手を創出し、経済規模を維持していく取組みが必要不可欠であると認識していた。 ・従来から融資等を通じた創業者向け支援を行ってきたが、その強化を図る観点から、平成 27 年 1 月、山口大学や(株)MOT 総合研究所（山口大学発ベンチャー企業）との間で包括的連携協定を締結し、三者が連携して「ベンチャー人材の育成」や「ベンチャー起業支援」に取り組むこととした。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行は、連携協定に基づく創業・新事業支援の取組みの一つとして、平成 27 年 4 月に、山口ソーシャルファイナンス(株)（クラウドファンディング運営会社）を設立した。（銀行出資によるクラウドファンディング運営会社としては日本初） ・当社には、当行や当行グループのキャピタル会社、(株)MOT 総合研究所だけでなく、趣旨に賛同した地元企業 18 社も出資しており、地域が一体となって創業、新事業、新商品開発に取り組む地元の事業者等を支援することを考えている。 ・クラウドファンディングは、地元企業を応援したいという人が創業や新事業を展開するための資金を拠出するものであり、銀行が直接資金提供を行うことが難しい場合であっても、地域一体となって地元企業を支援できる仕組みである。また、その資金調達のプロセスにおいて、必要資金の提供状況を確認することにより、新事業や新商品等が実際に顧客に受け入れてもらえるものかどうかを確認できる市場調査機能も有しており、創業や新事業の開始にあたっては非常に有効な手段となることから、創業支援や新事業支援に活用していく。 ・事業者の募集においては、事業の実態もなく資金を集めようとするような悪意のある事業者を排除するため、当行が支援対象の事業者とフェイス・トゥ・フェイスで接点を持ちながら、案件として取り上げる際の審査にも関与していく。 ・現在、周知活動に努めるとともに、事業者からの相談受付や県内を中心に出資者となる会員募集についても、当社の側面支援を行っている。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年 6 月に、本運営会社のサービスを開始したばかりであるが、既に複数の事業者より具体的な資金調達にかかる相談が寄せられている。 ・当行としても、クラウドファンディング運営会社を活用した資金提供によって、これまで融資の対象となりづらかった小規模事業の支援を行うことができるようになることから、銀行としてのビジネスの幅を広げることができる。 ・また、今後地元出身者がクラウドファンディングを活用し、UJ ターンによって地元で事業を興こすなど、地域活性化が図れば、山口県の課題である人口減少の抑制にも繋がるものと期待している。 <p style="text-align: right;">以 上</p>

銀行名	山口銀行
タイトル	ビジネスマッチングによる取引先の販路拡大支援
取組み内容	<p>【取組み内容】</p> <p>(1) ビジネスマッチング商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初の試みとして、県内のものづくり産業の活性化と取引先の販路拡大を図るため、(公財)やまぐち産業振興財団との共催により、「ビジネスマッチング商談会 with 大和ハウス工業株」を開催した。 平成 26 年 6 月 ニーズ説明会 (開催地: 山口市) 平成 26 年 9 月 商談会 (開催地: 山口市) ・大和ハウス工業株のニーズに沿った提案が可能な企業 30 社が商談会に臨み成約まで至っていないが、6 社が継続商談中となっている (平成 27 年 3 月時点) <p>(2) 外部のビジネスマッチングフェアへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 11 月に、以下のフェアを通じて、取引先の販路開拓を支援した。 地銀フードセレクション (開催地: 千葉市) 出展者数: 13 社 (山口銀行 8 社、もみじ銀行 2 社 () 北九州銀行 3 社) () 第 1 地銀対象フェアのため、もみじ銀行は山口銀行枠として参加。 商談成約件数: 23 件、継続商談件数: 18 社 (平成 27 年 3 月時点) やまぐちものづくり & ビジネスフェア (開催地: 山口市) 山口県が主催の商談会で、取引先へ情報提供を行った。 <p style="text-align: right;">以 上</p>

銀行名	山口銀行
タイトル	地域金融機関等と創設した「投資ファンド」による成長企業の育成
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主として山口県、広島県、福岡県の地域産業を構成する個々の企業への成長資金や新規事業開拓資金の供給を行うことにより、地域全体への経済波及効果ならびに雇用増加に大きな役割を果たすことを目的としている。 ・地域活性化に関する知識、知見を有する地域経済活性化支援機構のファンド運営子会社であるREVICキャピタルと共同でファンド運営することにより、取引先の経営改善へのサポートも併せて実施する。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年5月に、FGグループ内3銀行を含む地域金融機関等（西中国信用金庫、大和証券グループ本社、山口キャピタル、REVICキャピタル）と連携し、グループの総合力を活かした情報営業を一層展開するため総額10億円の「トリプルアクセル成長支援ファンド」を創設し、成長マネーの提供を行っている。 [内訳]山口銀行460百万円、北九州銀行100百万円、もみじ銀行300百万円、西中国信用金庫20百万円、大和証券グループ本社100百万円、山口キャピタル10百万円、REVICキャピタル10百万円 ・当該ファンドは取引先の販路拡大や新規事業への展開支援等を行い、多様化している顧客ニーズに応えるとともに、地域活性化を推進する。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記ファンドにおいて、平成26年度は1件40百万円の投資を行った（無担保社債引受） ・平成27年度以降も、年間8件程度の投資を見込んでおり、引続き地域金融機関等と連携して企業の育成に努めていく。 <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	山口銀行
タイトル	山口県と創設した「投資ファンド」による成長企業の育成
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口県内においても、人口減少などによる産業の空洞化が懸念されており、商工業を中心に農林水産業も含めた産業の再生を図る必要がある。 そのためには、産業、地域を支える技術力のある中小企業や中核農業経営体の進行・育成が不可欠であるが、企業等にとっては、特に創業時や新規事業参入時に多額の資金需要が発生するため、これに迅速に対応できる有効なツールとして、公的ファンドを創設した。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年 4 月に、山口県（やまぐち産業振興財団）と連携し、総合的な産業力の強化を促進する目的で総額 10 億円の「やまぐち夢づくり産業支援ファンド」を創設し、成長マネーの提供を行っている。 [内訳]山口銀行 660 百万円、山口県（やまぐち産業振興財団）330 百万円、山口キャピタル 10 百万円 当該ファンドは新規創業や新規事業展開等により、次世代産業や 6 次産業化に取り組む中小企業、農林業業者を投資対象とし、技術力のある中小企業の成長や農商工連携に取り組む企業の育成を推進する。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記ファンドにおいて、平成 26 年度は 5 件 184 百万円の投資を行った（すべて新株予約権付社債引受）。 投資に併せて、融資を行う事例もあり、多面的な支援にもつながっている。 平成 27 年度以降も、年間 6 件程度の投資を見込んでおり、引続き山口県等と連携の上、企業の育成に努めていく。 <p style="text-align: right;">以 上</p>

銀行名	山口銀行
タイトル	コンサルティング機能の発揮に向けた人材育成
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期経営計画に掲げる「お客様から頼られるコンサルティング機能の発揮」を現場実践できる人材を育成し、多様化するお客さまニーズに対応する。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引企業の的確な実態把握と経営課題を解決していくコンサルティング能力向上のため、平成 24 年度より「企業診断力養成講座」を開設、平成 26 年度は 6 名が受講。本研修は、延べ研修日数 30 日（インターバル 5 回）の上級研修でメイン講義としては、実際の取引先 2 社に赴き、1 社約 10 日間の実地研修を実施。役員へのヒアリングや工場実査、マーケティング調査等を行い、実態把握から経営課題の洗い出し、改善策の提案まで行うもの。 ・また平成 26 年度は、行員の目利き能力の底上げを図るため、上記「企業診断力養成講座」を初級クラス（1 日研修を 4 回開催）と中級クラス（3 日研修を 4 回開催）にダウンサイジングさせた研修を新設。初級クラスは、導入講座として若手行員を主体に 120 名が受講し、中級クラスは中堅行員を対象に 29 名が受講した。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング系研修について、実績ある上級者向け「企業診断力養成講座」を筆頭に、中級クラス、初級クラスと体系化し、行員の年次・レベルに合わせて、受講できる仕組みを準備。 ・初級クラスでは、経営者との面談時に行うべきヒアリング事項等を可視化し提供。中級クラスでは「生産管理」や「経営戦略」など、企業ニーズの高い分野に焦点を当てたカリキュラムで、専門的な目利き能力を有した行員を養成している。 <p style="text-align: right;">以 上</p>

銀行名	山口銀行												
タイトル	地方創生にかかるグループ新会社「株式会社YMF G ZONE プラニング」の設立について												
取組み内容	<p>・山口フィナンシャルグループは、平成 27 年 7 月 21 日付で、100%出資の子会社となる地方創生専門のコンサルティング会社「株式会社YMF G ZONE プラニング」を新たに設立した。</p> <p>・YMF G ZONE プラニングは、地元山口・広島・北九州の企業が直面する様々な課題の解決に取り組み、地方創生のキーワードである地域・域内企業の生産性向上に向けた総合的な事業活動支援を行っていく。</p> <p>【会社概要】</p> <table border="1" data-bbox="454 808 1469 1603"> <thead> <tr> <th data-bbox="454 808 587 853">項目</th> <th data-bbox="587 808 1469 853">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="454 853 587 943">企業名</td> <td data-bbox="587 853 1469 943">株式会社YMF G ZONE プラニング 略称：YM - ZOP（ワイエムゾップ）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 943 587 1032">本社所在地</td> <td data-bbox="587 943 1469 1032">山口県下関市竹崎町四丁目 2 番 3 6 号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1032 587 1294">役員等</td> <td data-bbox="587 1032 1469 1294">代表取締役社長 矢儀 一仁[常勤]（前山口銀行ソリューション営業部長） 取締役 吉村 猛[非常勤]（現山口フィナンシャルグループ取締役） 監査役 山西 淳[非常勤]（現山口銀行地域振興部長） 顧問 安倍 明恵 顧問 山本 尚史（拓殖大学政経学部教授） 顧問 牧野 知弘（オラガHSC株代表取締役）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1294 587 1339">資本金</td> <td data-bbox="587 1294 1469 1339">3,000万円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1339 587 1603">業務内容</td> <td data-bbox="587 1339 1469 1603">地域・域内企業の生産性向上に向けた総合的な事業活動支援 中堅・中小企業の総合的成長支援 経済構造分析・企業分析等データベース整備 各種ネットワークを活用したオープン・イノベーションを提供 官民連携によるインフラ整備の促進 女性活躍支援など労働生産性向上に資するコンサルティング</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">以上</p>	項目	概要	企業名	株式会社YMF G ZONE プラニング 略称：YM - ZOP（ワイエムゾップ）	本社所在地	山口県下関市竹崎町四丁目 2 番 3 6 号	役員等	代表取締役社長 矢儀 一仁[常勤]（前山口銀行ソリューション営業部長） 取締役 吉村 猛[非常勤]（現山口フィナンシャルグループ取締役） 監査役 山西 淳[非常勤]（現山口銀行地域振興部長） 顧問 安倍 明恵 顧問 山本 尚史（拓殖大学政経学部教授） 顧問 牧野 知弘（オラガHSC株代表取締役）	資本金	3,000万円	業務内容	地域・域内企業の生産性向上に向けた総合的な事業活動支援 中堅・中小企業の総合的成長支援 経済構造分析・企業分析等データベース整備 各種ネットワークを活用したオープン・イノベーションを提供 官民連携によるインフラ整備の促進 女性活躍支援など労働生産性向上に資するコンサルティング
項目	概要												
企業名	株式会社YMF G ZONE プラニング 略称：YM - ZOP（ワイエムゾップ）												
本社所在地	山口県下関市竹崎町四丁目 2 番 3 6 号												
役員等	代表取締役社長 矢儀 一仁[常勤]（前山口銀行ソリューション営業部長） 取締役 吉村 猛[非常勤]（現山口フィナンシャルグループ取締役） 監査役 山西 淳[非常勤]（現山口銀行地域振興部長） 顧問 安倍 明恵 顧問 山本 尚史（拓殖大学政経学部教授） 顧問 牧野 知弘（オラガHSC株代表取締役）												
資本金	3,000万円												
業務内容	地域・域内企業の生産性向上に向けた総合的な事業活動支援 中堅・中小企業の総合的成長支援 経済構造分析・企業分析等データベース整備 各種ネットワークを活用したオープン・イノベーションを提供 官民連携によるインフラ整備の促進 女性活躍支援など労働生産性向上に資するコンサルティング												

銀行名	山口銀行
タイトル	社会貢献への取組み
取組み内容	<p>【取組み内容】</p> <p>1．各種CSR活動の推進</p> <p>(1) 青少年育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度より、地元の高校生を対象に、金融経済教育を通じた地域貢献活動の一環として、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の山口大会開催を開始。平成26年度も第9回大会を11月に開催し、11校50名が参加。 ・平成24年度より、劇団四季（四季株式会社）が演劇を通じて子供たちの健全な育成に資することを目的に行っている大型児童招待事業「こころの劇場」山口公演への協賛を開始。平成26年度も協賛継続し、山口県内4ヶ所5公演、約6,600名の児童が参加。 ・やまぎん史料館を活用し、小学生夏休みセミナーや各種講演会などの開催を通じ、地域の皆様の交流・憩い・学びの場を引続き提供した。 <p>(2) 地域と海外の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和61年から実施している下関市立大学の聴講留学生支援を平成26年度も実施した（中国・タイ・トルコから5名の留学生受入（受入累計151名））。 <p>(3) スポーツ振興支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元最大のスポーツイベントである「下関海響マラソン」に対して、初回大会（H20.11.16）からフルマラソンのゼッケンスポンサーを務め、大会運営に協力。平成26年度は第7回大会が実施され、協賛・運営へ協力。 ・平成23年度に山口県で開催された「山口国体・山口大会」で高まった競技水準を維持・向上させ、スポーツ振興による豊かな社会作りの一助とするため、平成24年度より山口県体育協会への寄付を継続し、平成26年度も実施した。 ・平成19年度より県内女子サッカーの活性化のため、山口県女子サッカー選手権大会を「やまぎんカップ女子サッカー大会」として山口県サッカー協会と共催開始（平成26年度は8月に実施）。また、平成20年度より山口県、広島県、北九州市の女子サッカーチーム代表の交流戦としてYMFGレディースサッカー大会を開始した（平成26年度は2月に実施）。 <p>(4) 文化支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成9年より山口県交響楽団演奏会へ協賛を開始しており、平成19年度からは「やまぎんコンサート」として冠化。平成26年度は12月に開催。 ・平成26年5月に大浮世絵展（山口県立美術館）に特別協賛し、県内の文化振興へ積極的に携わった。 <p>2．環境問題への取組の推進</p> <p>(1) 森林整備活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に取組開始した森林整備活動「未来へつなげよう『やまぎんの森』」に継続取組み。 ・里山林再生事業として植樹活動を実施した下関市内の森林を対象に定期的な整備活動を実施している。 <p>(2) 節電・CO²削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度同様、クールビズ・ウォームビズ、毎月1回の一斉消灯日・ノーマイカーデーなどを継続実施。 <p>3．積極的な情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行のCSR活動について、ニュースリリース、ディスクロージャー誌やホームページへの掲載など、積極的な情報発信に努めた。 <p style="text-align: right;">以上</p>